

新ごみ処理施設建設計画

住民意向調査

● 新ごみ処理施設建設候補地変更の陳情



新ごみ処理施設完成イメージ図

賛成討論 (柏原孝至)

一人でも多くのお客様を誘致しなければいけない時に、お客様の嫌がる施設を観光地白馬村の玄関口、横には国道148号線、JR大糸線、オリピック道路、いこいの杜、グ

リーンスポーツの森、名鉄別荘地、みそら野別荘地、まだまだ白馬の中心として発展していかなければいけない場所、更に北アルプスを一望できる、まさに観光地白馬村へお客様をお迎えする大切な場所へ、ごみ処理施設を建設するよりも、ごみ処理施設は村で引き受け、村内の村民合意できる場所へ建設候補地を変更するべきと思います。

反対討論 (下川正剛)

候補地変更場所案として、1998年冬季オリンピックのバイアスロン会場候補地にと言っているが、土砂災害防止法の特別警戒区域であり、レットゾーンであること。また、佐野坂案については、湿地帯であり困難であると議会で説明を受けています。

広域連合議会で建設候補地は、飯森として承認され、更に近々アンケートを実施することを決定しており、現時点での変更は困難であり、反対いたします。

反対討論 (太谷正治)

新ごみ処理施設候補地は、国道148号線に面し、住民に対し分かりやすい場所、持込み易く、また利便性のある場所でもあり、公開性が保たれる施設でなくてはならないと思っています。周辺のグリーンスポーツの森、別荘地を十分意識した中で、公害と環境に配慮した施設に成りうるものと信じます。将来施設の周辺を整備することにより、村民の憩いの場所と成りうる地籍であります。処理場施設が、観光客の受け入れに打撃を与えるものではなく、しっかりとした施設ができることによって、お客様の信頼が得られるものと確信するものです。施設の場所は、村が決定するのではなく、共同体の広域で決定された場所であり、飯森の施設が出来ない場合は、白馬村でなく広域に返還し、再度施設の場所を選択することが、広域の一員である白馬村の決断すべき方向だと思えます。従いまして、陳情は不採択とするべきです。